

IX 特色ある公民館活動

九州大学との連携事業

糸島市立東風公民館

糸島市教育委員会 生涯学習課 東風公民館 主事 松吉 幹人

(1) 九州大学との連携事業

東風公民館は平成18年、隣接する前原小学校区と波多江小学校区から分離独立し東風小学校が誕生しました。これと同時に東風校区も誕生し、市立公民館が設置されました。大きな特徴としては九州大学伊都キャンパスに非常に近く直線距離で約3Kmです。この地理的条件からも九州大学との連携事業を設立当初から公民館の役割と考えて実践しています。

(2) 九州大学との連携事業展開の目標

九州大学との連携事業の目標としては①大学の教授、学生との協働。
②知的資源・人的資源の活用。③国際交流における国際感覚を醸成し、人権問題まで展開拡張する。以上の3項目を目標として事業展開しています。

それをふまえて、実施している具体的な3つの事業は以下の通りです。

- ①九州大学の留学生との国際交流
- ②教授や学生グループによる科学実験教室
- ③文化祭や音楽祭などの校区事業に学生サークルの参加です。

(3) 事業の実施主体と関係団体

実施主体は事業により分かれますが、公民館事業として企画・運営しているものは科学実験教室です。留学生との国際交流や校区事業である文化祭・音楽祭などはそれぞれ、「東風校区民会議」と「文化委員会」や「音楽祭実行委員会」となります。

規模が大きくなるにつれ、校区全体の事業として企画・運営するように所管を移しています。特に国際交流事業は校区の行政区長会、食進会、青少年育成や校子連、体育委員会など校区関連団体全体で運営しています。

(4) 事業予算

事業予算としては校区主体の事業については「校区運営協議会費」や「文化祭予算」や「音楽祭予算」の予算で年度当初より予算立てて、執行しています。

公民館事業の科学実験教室については公民館講座運営費より拠出していますが、市の予算が少ないので非常に苦しい状況にあります。

国際交流事業は22年度より市の「九州大学連携事業補助金」がスタートしたので幸いにもこの補助金にて一部を賄うことができました。

(5) 実施経過ときっかけ及び事業内容

3事業についてはそれぞれ経過が違いますので、個別にご紹介いたします。

【九州大学留学生との国際交流】

平成18年に教育学部フォーラムの開催をきっかけに留学生との交流会がスタートしました。初年度は8ヶ国11名の参加者でしたが、昨年より箱崎キャンパスの「留学生センター」を窓口にして連絡や打合せがスムーズに行えるようになり22年度は16カ国55名の参加になりました。それに伴い校区の参加者も増大し、内容もより充実したものになり、餅つきだけでなく日本文化の紹介もできました。



←餅つき

着物着付け体験

→



成果と課題としては

- ・地域住民の絆が深まった。子ども達から高齢者までの多世代交流にもなっています。また、この交流会をきっかけにして住民と留学生の草の根交流ができつつあります。
- ・留学生の滞在時間が短いのでより深い交流が出来ません。また、留学生と同世代の参加者が少ないことも課題の一つです。

【教授や学生グループによる科学実験教室】

平成19年に当時前原市公民館主事会と九州大学地域連携ワーキンググループとのミーティングがきっかけとなりました。このミーティングで地域連携事業を模索して公民館講座で開催可能な事業を考えた結果、小学校と公民館の連携や子ども達の科学離れが加速している状況により科学実験教室を開催することにしました。

内容としては学生グループによる実験教室を年3回、工学部教授による高度な実験教室を夏休み期間に2回開催しました。

学生グループの実験は「推測」「実験による検証」「推測と結果の違い」「発表」と実験の目的を明確にすることで、子ども達は達成感や実験を体験しています。



←学生グループによる糸電話の実験風景

工学部教授の無重力の実験→



成果と課題

- ・科学に興味を持つ子ども達が多くなりました。
- ・市内の他の公民館でも科学実験教室を開催するようになり、多角的な展開が出来た。
- ・メニューによっては参加者にバラつきがあり、地味なテーマだと参加者が少ない。
- ・学生達は卒業や試験時期、教授は学会や研究などで多忙なので講師側との日程調整が難しいです。そのためきめ細かい打合せが必要となります。

【校区事業に学生さん達の参加】

平成22年度に初めて実施した連携事業です。きっかけは九大と地域のお祭や学園祭に出かけて、出演しているサークルに直接メールや、現地で連絡を取りました。結果、軽音楽部ジャズ研究会と連絡が取れ、文化祭前夜祭で演奏して頂きました。

また、定期演奏会の会場として公民館のホールを開放しました。



←文化祭前夜祭での演奏

定期演奏会での風景

→



成果と課題

- ・学生達が気軽に公民館を利用出来るきっかけとなりました。地域住民と学生との交流のステップになるのではないのでしょうか。
- ・情報伝達が一番の課題となります。校区行事などの情報をいかに学生サークルへ発信するその手段と方法が非常に少なく、現状では直接サークルに呼びかけるしか方法がありません。

今後の展開としては、ジャズ研究会だけでなく、合唱や邦楽などのサークル、あるいはマジックサークルや書道、生花などのグループにも呼びかけたいと思います。

校区行事だけでなく、学生達の発表の場として公民館を提供することによって若い世代が来館するきっかけになればと思います。

問合せ先

〒819-1105 糸島市潤4丁目10番2号 糸島市立東風公民館

TEL/FAX 092-321-1114

URL <http://www.city.itoshima.lg.jp/site/harukaze/>